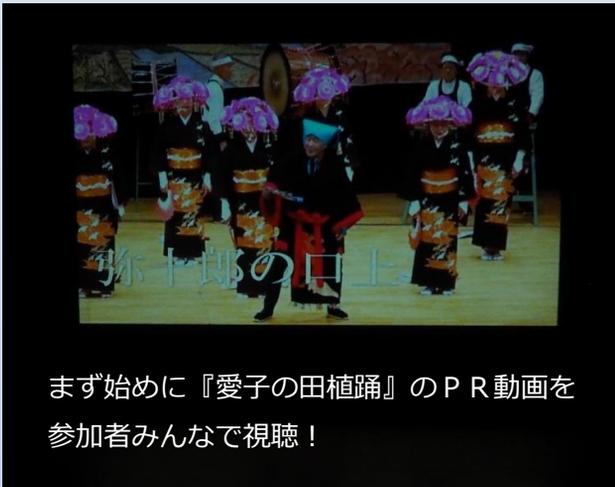




今回は、従来の芸術文化の担い手づくりで行っていた『バックステージツアー』に併せて、市民センターの活動支援団体『愛子の田植踊保存会』のPRを目的に加え『ステージ演出体験with愛子の田植踊』とタイトル、体験内容を変更し、実施いたしました。

当日は、一般公募の参加者20名、職場体験で来ていた中学生4名と一緒に、舞台設備等の仕組みの学習と準備、また、ステージ演出に欠かせない様々な機材の操作方法の習得とステージ演出を体験しました。



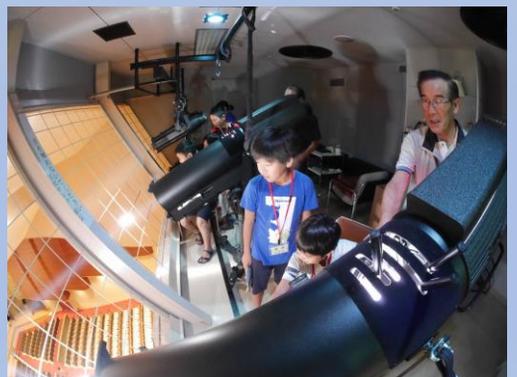
まず始めに『愛子の田植踊』のPR動画を参加者みんなで視聴！



PR動画を視聴したあとは、舞台編へ突入！  
参加者全員で舞台上がり舞台装置を準備しました。



舞台編が終わり続いて照明編のスタート！始めに、光の色を調整するために必要な『光の三原色』の説明を聞き、その後、ステージ上の職場体験の中学生をモデルに、様々な角度からスポットライトを当て、表情が変化の様子を確認しました。



続いて、お客さんの視線を集中させて、ステージ上の重要な人物を目立たせる『ピンスポットライト』の操作方法を学び、参加者自ら操作体験です。



照明編のあとは、音響編へ移動♪

音響調整室には、“聞きやすい音”をつくるために様々な機械が設置されています。

機械の役割・操作方法を覚えたあとは、ステージ袖に移動し、MCマイクで会場内にアナウンス♪



舞台監督担当

音響編が終了し、いよいよ『愛子の田植踊』のステージプロデュースの時間です。

舞台監督をはじめ各役割分担に参加者がスタンバイし、本番を待ちます。



照明担当



音響担当



ピンスポット担当

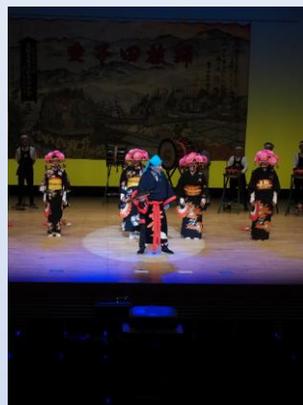


スモークマシン担当

いよいよ本番が始まります。舞台監督が各セクションに本ベルの連絡を入れ、ベル終了後、ピンスポットに照らされた司会者が緞帳前で田植踊を紹介します。

アナウンス終了後、緞帳が上がり『愛子の田植踊』がスタート！！

照明担当が明かりをつけ、音響担当がマイク音量を調整します。また、ステージ下袖後方からスモークマシンを動かし、照明効果を高めていきます。



緊張感のあるステージ本番でしたが、参加者皆さんは与えられた役割を上手にこなし無事『愛子の田植踊』のステージプロデュース体験を遂行しました。

最後は、参加者・ホールスタッフ・センター職員・田植踊保存会の皆さまと一緒に記念撮影を行い、『ステージ演出体験with愛子の田植踊』の全てが終了となりました。



2018/8/21 (TUE) ステージ演出体験with愛子の田植踊 会場/広瀬文化センター 主催 聯合市広瀬文化センター 聯合市広瀬市民センター 協力 愛子の田植踊保存会

日 時：2018年8月21日（火）13時～16時  
会 場：広瀬文化センター ホール  
参加者：24名（職場体験生徒含む）  
主 催：広瀬文化センター、広瀬市民センター  
協 力：愛子の田植踊保存会